

第3回多職種連携コアスタッフ会

開催日時：平成24年10月30日（火）16:00～18:30

開催場所：松山市総合コミュニティーセンター 第5会議室

出席者：26名

前回のコアスタッフ会で出された課題・問題の解決策を話し合いあいました。



(コアスタッフ会議)



(グループディスカッション)



(グループ発表)

1 グループ発表

課題： 病院側の在宅医療に関する認識不足、退院に向けた院内調整の不備

協議事項： ○本人本位の医療を提供できる医師を育てる

○退院カンファレンスの充実（在宅生活のイメージが可能に）

○地域医療連携室の強化

○「在宅相談外来の設置」（連携室との連携が円滑に）

○看取りの成功体験を語れる場、地域の人が地域の人のために看取りの成功体験を話せる場作り



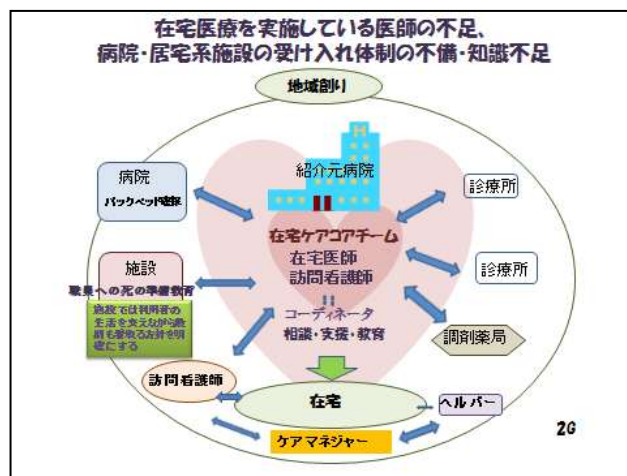
2 グループ発表

課題： 在宅医療をを実施している医師の不足、病院・居住系施設の受け入れ体制の不備・知識不足

協議事項： ○在宅医師・訪問看護師による在宅ケアコアチームを作る

（地域全体のコーディネーター機能、施設での看取りを増加するために死の準備教室の開催等在宅医療を普及する）

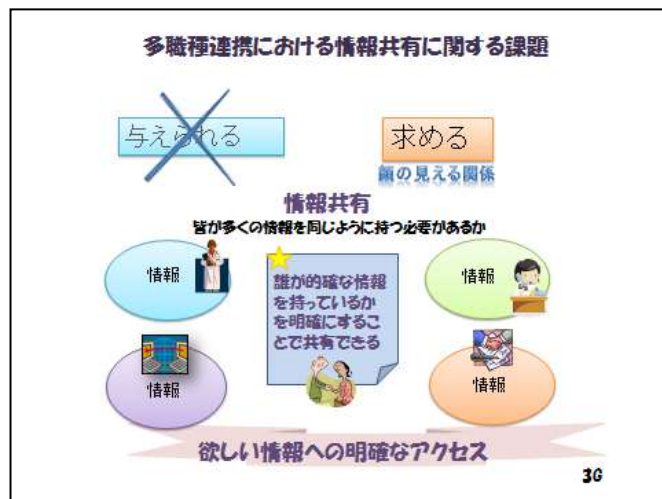
※現在、中橋先生が大洲と今治で在宅緩和ケアコアチームのモデル事業を実践中



3 グループ発表

課題：多職種連携における情報共有に関する課題

- 協議事項：○情報に対する考え方の転換「情報は与えられるものではなく、求めるもの」
○必要な情報を得るためにはどこに（誰に）アクセスすればよいのかを明確にしておくことが重要。顔の見える関係も大切。



4 グループの発表

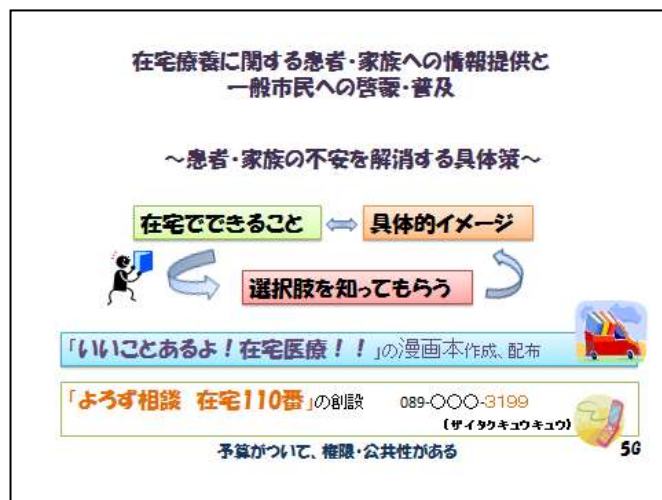
課題：在宅医療に関する社会資源情報と資源の不足について

- 協議事項：○資源があるのに「知らない」「資源の活用の仕方を知らない」という問題。
○情報を集めて発信できる地域包括支援センターの強化。社会福祉協議会も県と市と地区にもあるので、キーステーションになる。



5 グループ発表

- 課題：在宅医療に関する患者・家族への情報提供と一般市民への啓蒙・普及
- 協議事項：○告知の問題等をマンガにして伝える（マンガは受け入れられやすい）
- 困ったときに相談できるよろず相談「在宅110番」の開設。
（予算がつき、権限もあり、公共性も高い県や市町に作る）



前回のコアスタッフ会で抽出された課題に対しての解決策を話し合った今回のコアスタッフ会。活発な意見交換がなされ、とても充実した会となりました。